

老いのすなる

梅津純子

老いのすなる白内障の手術をばわれもしてみむとてするなり

週に三冊図書室の本読まむとし疲れ目赤き五年生なりき

戯れの老眼鏡に鮮明な文字が飛び込む四十五歳

左右合はぬ老眼乱視の進行に作り重ねる眼鏡の五本

老父母もあの老^{らう}この老手術せる白内障はいと易からむ

あな恐ろし手術説明同意書に失明といふ例までありて

術後七日土仕事厳禁とふ冬近き庭の雪囲ひ急ぐ

白内障には退院日和と看護師は小暗き窓の雨に眼をやる

白内障術後十日の満月は正視もできぬ輝き放つ

ひと月の間を置き左右の眼の手術眼鏡使へぬ苦痛の長き